

科目名		単位数	担当教員	区分
平成26年度以降	ドイツ語1	1	清水 威能子	
平成25年度以前	ドイツ語 I a	1		
教職				教職
<b>授業の到達目標及びテーマ</b> 現代の国際化した社会に対応するためには、世界の多様な価値観や考え方を学ぶ必要があります。また外国語でのコミュニケーション能力や、情報活用能力を養うことにより、将来の選択肢が広がることでしょう。この授業は、そのような実用的なドイツ語の運用能力(ドイツ語で簡単な自己表現ができるようになること)の修得を目標とします。 またドイツ語圏の国(ドイツ、オーストリア、スイスなど)は、サッカー強国として知られていますが、そこには多様な歴史と文化をもつ都市(ベルリン、ミュンヘン、ウィーン、ザルツブルク、バーゼル、チューリヒなど)があります。ですから言語だけではなく、ドイツ語圏の都市、歴史、文化、社会も学び、国際的な視野を広げることも目指します。				言語
<b>授業の概要</b> ドイツ語を初めて学ぶ人を対象に、ドイツ語の発音、基礎的な文法、基本的な表現を学びます。その後、会話練習や読解練習などの実践的な応用練習を行います。さらに映画などの映像や音楽を通して、ドイツ語圏の国について幅広い知識を獲得し、日本との比較を行います。 英語が苦手だと感じている人も、ドイツ語は得意になるかも知れません。途中で挫折することなく一歩ずつ進んで行きましょう。				共通
<b>授業計画</b>  第1回:ガイダンス(ドイツ語とドイツ語圏の国について) 第2回:アルファベットと発音練習(母音を中心として) 第3回:発音練習(子音を中心として) 第4回:基礎的な挨拶表現 第5回:1課 動詞の現在人称変化(1) 第6回:1課 現在形の応用練習 第7回:1課 自己紹介とさまざまな疑問文 第8回:1課 読解練習、ミュンヘンの歴史と文化 第9回:2課 定冠詞 第10回:中間試験、ドイツの都市概観 第11回:2課 不定冠詞 第12回:2課 読解練習、ザルツブルクの歴史と文化 第13回:3課 動詞の現在人称変化(2)と命令形 第14回:3課 非人称のes、数詞、時刻の表現 第15回:これまでの復習と補足  定期試験				専門基礎
<b>テキスト</b>  『ブーメラン・エルエー』、小野寿美子 他、朝日出版社				法律一般
<b>参考書・参考資料等</b>  独和辞典も必要です。(独和辞典は開講時に紹介します。)				政治行政
<b>学生に対する評価</b>  授業時の課題達成度(40%)、中間試験(30%)、期末試験(30%)により総合的に判断します。				経営法務
				スポーツ福祉
				演習
				25年度以前
				言語系科目